

市川市議会議員

石原よしのり通信



新市長の就任後、初めての市議会開催

4月22日に行われた再選挙の結果、村越ひろたみ氏が新市長に当選されました。

昨年11月に行われた市長選挙で当選者が決まらず、異例の4か月に及ぶ市長不在期間を経ての当選です。

就任初の6月議会では、市長の所信表明演説がありました。まだ就任1か月ほどですので、今議会では市長の具体的な政策を反映した議案はありませんでした。しかし、所信表明の中で、待機児童対策に積極的に取り組む、公共施設の利用料金引き下げ、週2回に減らされたゴミ収集回数の見直しを検討するという決意が示されました。また、新市長の公約だった毎月の市民との「タウンミーティング」も始まりました。

村越市長は、市民グループの支援も受けた若くてやる気のある方ですから、初心を忘れず常に市民の声を聴き、将来の市川市の姿を見据えた政策を私たちとともに考えていってくれることを期待します。

外環道路が開通、市川が大きく変わった

6月2日、外環道路の高速道路と国道298号線が開通しました。広くて快適な道路ができ便利になったことや、これまで市内の道路にあふれていたトラックなどの通過交通が外環道路に吸収され、市内道路の渋滞が大幅に減ったことなどの効果を実感しています。



これからは、市内生活道路の安全対策に本腰を入れて取り組んでいかなければなりません。交通事故の危険性を減らし、子供たちや高齢者の命を守っていくことに精力を注ぎます。

「石原よしのり市政報告会」

6月議会報告と新市長体制の市政について

日時：7月15日(日) 14:30~16:30

場所：アイリンク会議室(市川駅南口、タワーズイースト3階行政サービスセンター内)
議員と身近に話せます。お気軽にお出かけください。(入場無料です)

石原よしのり 6 月議会での一般質問

1. 外環道路開通後の交通安全対策について

早急に交通量の変化を調査・把握して、それをもとに市内の生活道路の交通安全対策を積極的に進めるよう、そのための十分な予算の確保を図るよう強く主張しました。

2. 学校と地域の連携について

市川市でも地域の人たちが学校運営協議会メンバーとなり学校運営に参画する仕組み「コミュニティ・スクール」の導入が始まりました。教育の向上をめざすとともに、学校と協力することでもっと地域がメリットを得られる仕組みにしていくことが重要と主張しました。

3. 緑の保全について

新市長のもとで樹林地や市の木クロマツと自然環境の保全の重要性を訴えました。市長は、緑の保全に力を入れる意向とクロマツを守り増やしていく方針を示しました。

4. 新庁舎建設事業について

2020 年春完成に向け現在建設工事中の新庁舎は、総工事費について労務費等の上昇はあるが見込み額の 259 億円内で抑えるよう努めるとのことです。市民の意見について、詳細設計を詰める中で可能なものはできる限り反映させるよう求めました。

用語解説

皆さん、地域の学校を身近な存在に感じていますか？

昔は、学校は、自由に校庭に入ってボール遊びをしたり、地域の行事を学校でやったり、学校行事が地域イベントだったりと、学校が地域の結びつきの中心だった記憶がありませんか？

今、学校は塀に囲まれ、門は閉ざされ、先生たちの顔もわからず、地域に子供が少なくなったこともあり学校が地域住民から遠い存在になっています。

そこで国は「地域とともにある学校」に変えていく方針を打ち出しました。地域住民などが広く参加して学校運営にかかわる協議会を学校に設置して、そこに一定の権限を与えることにしました。これをコミュニティ・スクールといいます。地域と学校の連携ができることで、学校は生徒の見守り、課外活動の指導、専門知識の提供などの支援を受けられ、地域側は活動場所を提供してもらったり生徒や教師に地域活動に参加してもらえます。市川市では平成 28 年度から順次導入し、31 年度には全公立小中学校をコミュニティ・スクールにする計画です。

石原よしのりプロフィール

1983 年	東京大学卒業（農学部 森林・林業政策専攻）
1983 年	王子製紙入社。以後 27 年間、工場現場をはじめ事業管理、経営企画、海外事業を担当
1990 年	米国 WAKE FOREST 大学大学院卒業（経営学修士 MBA）
2011 年	市川市議会議員に当選、現在 2 期目

連絡先

〒272-0826 市川市真間 4-11-C202

TEL : 047-710-0958

FAX : 047-710-0959

メールアドレス：yoshinori.ishihara@gmail.com

ホームページアドレス：<http://ishihara-yoshinori.jp>

